

重度凍結肩（四十肩・五十肩）でお困りの方へ

・凍結肩（とうけつかた）とは・・・？

- ✓ 四十肩・五十肩の事をさし、肩関節の**強い痛みと硬さ**が特徴です。
- ✓ 原因は、肩関節に炎症が生じることによります。
- ✓ 特に肩関節が動きが悪くなる状態を**重度凍結肩**と呼びます。



・凍結肩（とうけつかた）の自然経過は・・・？

炎症期と**拘縮期**と**回復期**の3段階で進んでいきます。

- ①**炎症期**・・・耐え難い痛みで肩が動かせません。夜の痛み・何もしなくても痛いのが特徴的です。
- ②**拘縮期**・・・痛みは消えますが、肩が動かなくなります。
- ③**回復期**・・・徐々に肩関節の可動域が改善していきます。

自然回復するまでに**数か月から数年間**かかります。

・凍結肩（とうけつかた）の治療は・・・？

一般的には安静、鎮痛薬の内服、痛み止めの注射、リハビリ治療になります。



しかし、一般的な治療を続けても症状は変わらず、日常生活や仕事に非常に支障が出ている方も多いかと思えます。

少しでも症状の改善を早めるための治療として

当院では凍結肩でお困りの方に
外来で頸椎神経根ブロック下肩関節授動術を行っています

“サイレントマニピュレーション”とも言われます

- (治療法) ①超音波を用いて安全に頸椎神経根をブロック麻酔します。肩関節は麻酔され感覚も無くなります。麻酔は個人差もありますが約8時間ほど効きます。



- ②麻酔して約15分後にゆっくり肩関節をストレッチします。このストレッチで関節内の硬くなった部分を剥がして行きます(麻酔によりほとんど痛みは感じません、突っ張り感などは多少残ります)。

- ③翌日から肩を動かすリハビリを積極的に行います。

この施術の目的は痛みの原因と考える微細な炎症血管を破綻させること、硬さの原因となっている関節内の膜に切れ目を入れることです。

・この治療の良い点(メリット)

- ✓ 超音波を用いて麻酔をするので安全です。
- ✓ 外来にて2時間程度の治療で済みます(帰宅時の車の運転は避けてもらっています)。
- ✓ 翌日からリハビリ治療を行うことで大きな可動域改善が期待できます。